

最優秀者にN+P

不動産会館建替設計プロポ

県宅建協会

石川県宅建物取引業協会は30日、理事会を開き、「石川県不動産会館建替え事業」にかかる設計プロポーザルの結果について、最優秀設計者にエヌアンドピーアーキテクトゥ(金沢市)を決定した旨を報告した。

1982年竣工で老朽化した現会館(大豆田本町、S造3階建て延べ約618平方メートル)の建て替えに伴う基本・実施設計を委託するもの。建設場所は現会館裏手の駐車場用地で、敷地面積は約9

60平方メートル。

建替えのコンセプトは、宅建物取引業の適正運営などを目的とした同協会の拠点、シンボル性を備えた会員が誇れる会館などとし、延床面積

は800平方メートル程度(階数指定なし)を提示していた。

プロポーザルには県内の設計事務所6社が参加。先月上旬に最終審査のプレゼンテーション・

ヒアリングが行われ、新会館建設準備委員会が最終検討を行い、最優秀者1社を選定した。協会は、21年度の施工者選定、22年度の完成を目指している。